

● 全国学力・学習状況調査結果で示された課題への対応

全国学力・学習状況調査の結果を分析して、あらためて、問題解決のプロセスを丁寧に扱うこと、見通しをもって観察・実験活動に取り組むこと、さらには単元間や学年間の内容の系統性や、実生活との関連などを大切にし、子どもたちが意欲的に学習を進められるようにしています（→ p.4-25）。

教科書別冊「わくわく理科プラス」を新設して各学年とも「本冊+別冊」構成とし、全国学力・学習状況調査の無回答率の高さなどが懸念される現況において、「書く」ことを通し語彙力・表現力を養い、子どもたちが主体的に自らの学びを進められるようにしています（→ p.6-7, 10-11）。



▲ 3年 本冊 表紙



▲ 3年 別冊 表紙



▲ 4年 本冊 p.120

単元末の「力だめし」では、思考力を問う様々な内容を掲載しています（→ p.9-11）。
日常生活と学習内容とを結びつけて考える問題についても扱っています。



▲ 5年 本冊 p.80

確かな観察・実験活動をしてきたかを問う内容や、実生活との関連を問う内容についても扱っています。

学年末問題

1年間の学習を振り返って、次の問題にチャレンジしてみよう！

① りょうさんとたかしさん、あやさんの3人は、グループで夏休みの自由研究を行うために、アサガオを育てようとしています。

① あやさんは、庭の花だんてアサガオが^{はづき}発芽しているのを見つけました。去年、土の上に落ちた種子が発芽したようです。つくえの中にしまっていたアサガオの種子を見ると、まだ発芽していません。りょうさんとたかしさんにも理由を聞いてみました。だれの考えが正しいでしょうか。



② りょうさんは、アサガオの成長に必要な条件を調べるために、次の図のような実験の用意をしました。しかし、たかしさんから、「これでは正しく調べられないよ。」と言われてしまいました。りょうさんが考えた実験はどこがまちがっているのか、理由もつけて説明しましょう。



③ ちはるさんは、プロペラをもっと早く回そうと思い、ほかの友達のせん風機を見せてもらいました。すると、ちはるさんのせん風機とは、次のようなちがいがありました。ちはるさんのせん風機より早く回るものを見つけて、その番号をかきましょう。

1. かん電池をつなぐ向きが、わたしのものと、ぎやくだった。かん電池の数は、わたしのものと同じで、1つだった。

2. かん電池をつなぐ向きは、わたしのものと、同じだった。かん電池の数は、わたしのものとちがって2つで、図のようにつながっていた。

3. かん電池をつなぐ向きが、わたしのものと、ぎやくだった。かん電池の数は、わたしのものとちがって2つで、図のようにつながっていた。

4. かん電池をつなぐ向きは、よくわからなかった。かん電池の数は、わたしのものとちがって2つで、図のようにつながっていた。

別冊「わくわく理科プラス」の巻末に「学年末問題」を設け、学習した内容をさまざまな形で提示して、総合的な読解力が身につくようにしています。

提示された内容の問題点に着目し、解決策を考える力を問う内容についても扱っています。

◀ 5年 別冊 p.42

③ ふりこ時計のふりこの部分は、^{ひきこ}金属でできています。冬になると、ふりこ時計の針がどうして進むようになったのか、4年生の「ものの温度と体積」で学習したことも思い出して、説明しましょう。

自分と他者を比較するなどして、提示された事柄から必要な情報を取り出して考える内容についても扱っています。

◀ 4年 別冊 p.46

◀ 5年 別冊 p.44